



N°3
d'ANGELUS

2019

N°3 D'ANGELUS

2019

Saint-Émilion



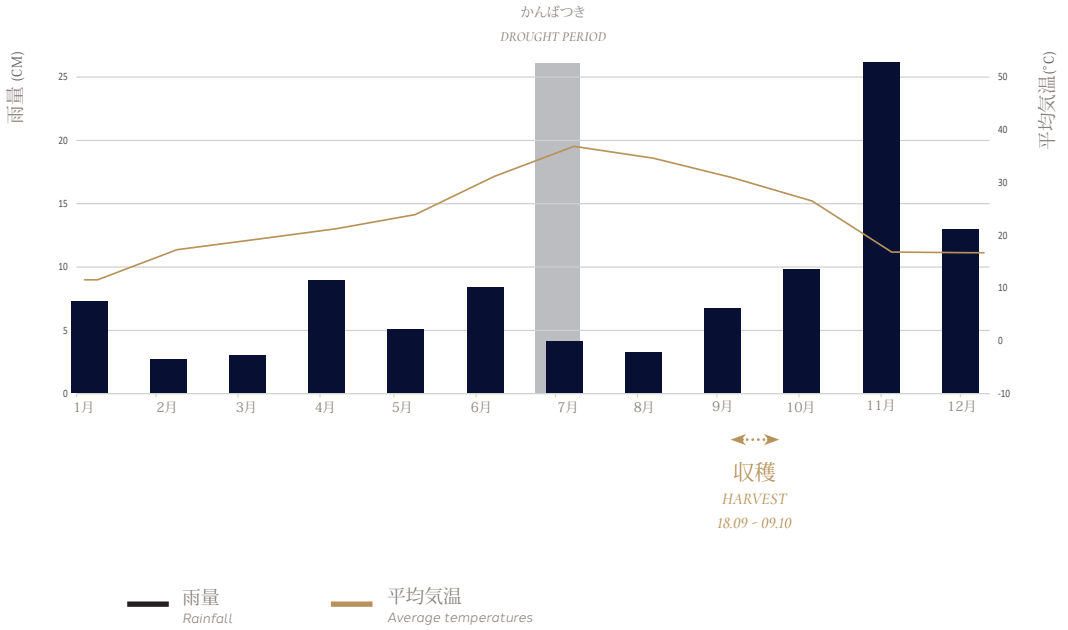
2019年はドメヌにとって非常に良いヴィンテージとなるだろう。

全てが容易であった訳ではない。4月には霜のリスク、やがて大雨に見舞われる。6月末には太陽の魔法により乾季が訪れたものの、うち3～4日が35～36℃の気温を記録した以外、そこまでの猛暑にはならず。涼しい夜のお陰で、ぶどう樹も休息できた。ぶどうの収穫は理想的な条件の中で実施。素晴らしい快晴に恵まれる。9月18日にスタートを切った収穫は、カベルネ・フランの最後の収穫が行われた10月9日まで継続される。収穫開始の数日前に降った恵みの雨のお陰でぶどうのバランスが向上し、より軽みがありながらもしっかりとした構造の、しなやかな果実となる。果実の澄み切った味わいをそのまま抽出すべく、圧搾には最大限の注意を払っています。

深いガーネット色のワインは、清涼感あふれるベリー類の可憐なアロマを体現している。口に含むと、緊張と調和が絶妙なバランスをみせる構造のなかに、みずみずしい果実の味わいが広がる。

アッサンブラージュ メルロ85%、カベルネ・ソーヴィニオン15%
ぶどうの収穫 9月18日～10月9日

気候条件



持続可能な ブドウ畑のために

アンジェリユスのテロワールは、気候や土壌、貯水量、そしてブドウ樹とそれを手入れする人たちの完璧なバランスの成果です。このバランスを維持し、ブドウ畑やその環境を永續させ、リソースを最適化し、生物多様性を促進すること。それが私たちに課された日常的な仕事です。こうした環境への配慮により、環境にやさしい責任ある農法への取り組みが誕生しました。

土壌に命を吹き込む

カバークロープによる畝の雑草対策。
天然土壌の団粒化菌根菌の促進。
昆虫の空中生活を支える地表の生態的地位(ニッチ)

個別に対応したお手入れ

樹液の流れを遵守した剪定
病気の予防措置
適切な刈り込み
早い時期の除葉と間引き

生物多様性の促進

パーセルを囲んだ低木や木の植樹
投入剤の制限、害虫の拡散防止
ポリカルチャーの実施



ANGELUS

Château Angelus 33330 Saint-Émilion
angelus.com